

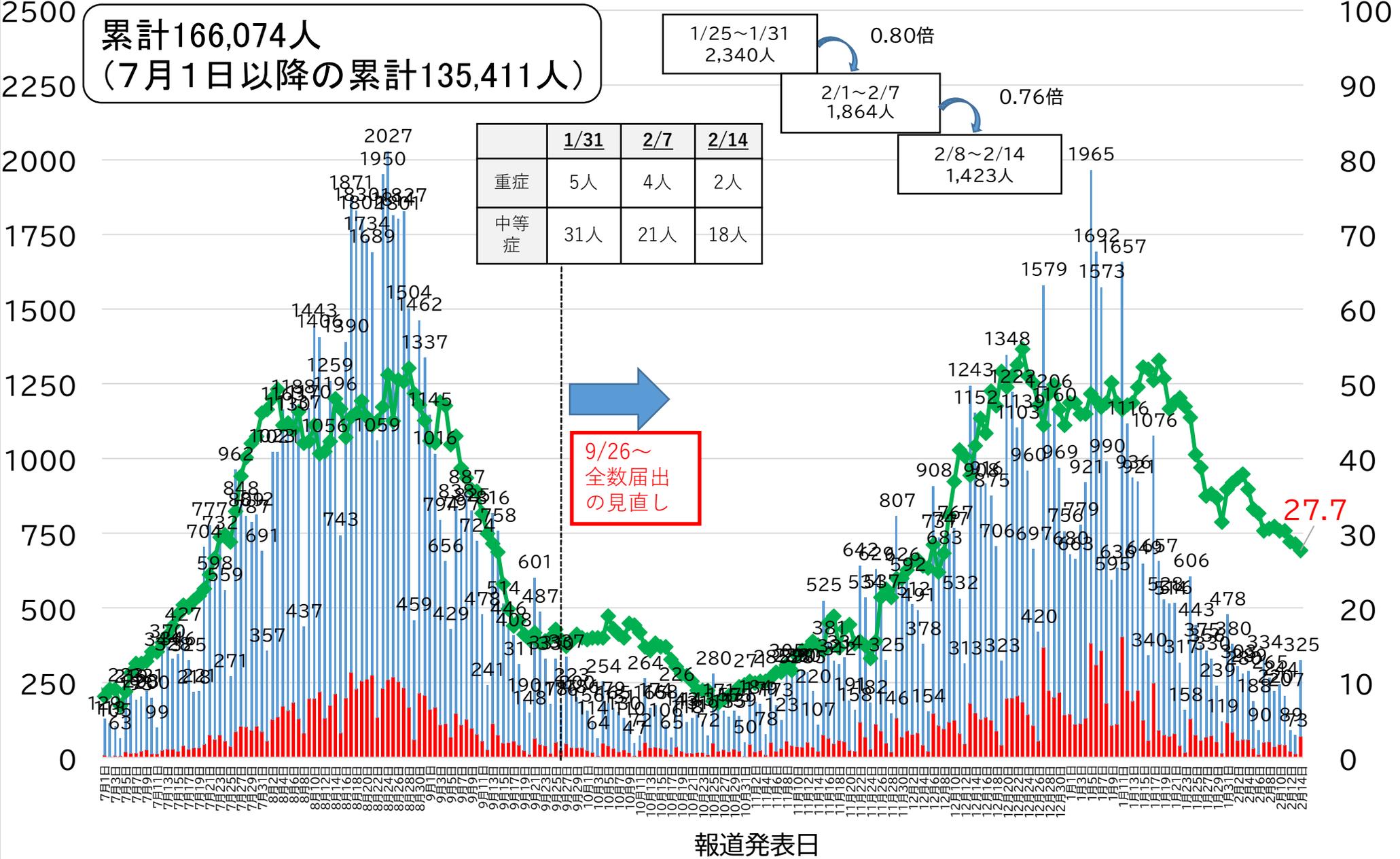
(人) 新型コロナウイルス感染者数等の推移(日毎)(令和4年7月1日～令和5年2月14日) (%)

累計166,074人
(7月1日以降の累計135,411人)

1/25~1/31	2,340人	0.80倍
2/1~2/7	1,864人	0.76倍
2/8~2/14	1,423人	

	1/31	2/7	2/14
重症	5人	4人	2人
中等症	31人	21人	18人

9/26~
全数届出
の見直し



■ 70代以上 ■ 60代以下 患者数 ◆ 病床占有率

高知県の新型コロナウイルス感染症の対応目安 (11/17～運用見直し)

判断指標		県の状況 (2月14日時点)	総合判断 (2月15日)
①確保病床の占有率 (入院患者数/確保病床数(343床))	感染観察(緑) : 3%未満 注意(黄) : 3%以上 警戒(オレンジ) : 20%以上 警戒強化(赤) : 30%以上 対策強化(紫) : 50%以上 (医療非常事態 : 65%以上) 特別対策(濃紫) : 80%以上	27.7% (95/343) うち重症用即応病床の占有率 : 8.3% (2/24)	警戒
②直近7日間の70歳以上の 新規感染者数	警戒(オレンジ) : 210人以上 警戒強化(赤) : 420人以上 対策強化(紫) : 630人以上	2/8~2/14 全数:266人	

県内の感染状況を踏まえた対応方針、県民・事業者の皆さまへのお願い（1/2）

「感染症対応の目安」におけるステージ：警戒（オレンジ）（令和5年2月15日時点）

2月15日からのお願い（2月28日まで）

○県民の皆さまへ

- (1) 不織布マスクの正しい着用、3密の回避、十分な換気対策、こまめな手指消毒をはじめとした**基本的な感染防止対策を徹底**してください。
（特に重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方）
- (2) 家庭内では、部屋の換気、共有部分の消毒、タオルや食器の共用を避けるなど、感染防止対策の徹底をお願いします。
- (3) オミクロン株に対応したワクチンの接種が進んでいますが、オミクロン株のみならず、今後の変異株に対しての有効性も高いとされていますので、**積極的な接種**をお願いします。また、生後6か月から11歳の子どもたちについても積極的な検討をお願いします。
あわせて、**季節性インフルエンザワクチン**についても**積極的な接種**をお願いします。
- (4) 発熱などの症状がある方は、検査協力医療機関で受診いただくか、自己検査をお願いします。
- (5) **発生届の対象外となった方や自己検査で陽性となった方は、必ず県が設置する「陽性者フォローアップセンター」への登録**をお願いします。
なお、登録済みの方で薬を希望される方には、オンライン診療により自宅まで薬を配達することも出来ますので、ご利用ください。
（オンライン診療は2月19日、薬の配達は2月20日で休止となります。）
- (6) 無症状でも感染不安のある方は、県が設置する検査会場や薬局等での**無料検査を積極的に利用**してください。
- (7) 救急車を呼ぶか、病院を受診するか迷う場合には、**高知家の救急医療電話「#7119」を活用**してください。
- (8) 感染した際の自宅療養に備え、災害時と同様に、普段から食料や生活必需品などの備蓄をお願いします。
- (9) 発熱等の体調不良時に備え、あらかじめ薬局等で抗原定性検査キットや解熱鎮痛薬を購入しておくことを推奨します。
- (10) 感染者やその家族、医療従事者等に対し、誹謗中傷や差別的な行為を行わないようにしてください。

○事業者の皆さまへ

- (1) 業種別ガイドライン等に基づく感染防止対策（特に、従業員のマスク着用）を徹底していただくようお願いします。
- (2) 従業員の体調管理を徹底し、少しでも体調が悪い場合には**休暇を取得できる環境確保**に努めてください。
- (3) 感染や濃厚接触者となった従業員の職場復帰に当たっては、医療機関等の証明書を求めないようお願いします。

県内の感染状況を踏まえた対応方針、県民・事業者の皆さまへのお願い（2/2）

「感染症対応の目安」におけるステージ：警戒（オレンジ）（令和5年2月15日時点）

2月15日からのお願い（2月28日まで）

【ステージ引き下げに伴い、以下の「協力要請」は終了】

1 会食について

・（参加者全員について、「ワクチン接種歴」又は「検査による陰性」の確認ができない場合）可能な範囲で規模縮小、時間短縮を検討

2 外出・移動について

・重症化リスクの高い方は、混雑した場所、換気の悪い場所や感染対策が十分でない施設など、感染リスクが高い場所への外出は極力控える
・施設に入所している高齢者への面会（対面）は、極力控える

1 会食について

- (1) 多人数での会食など、感染防止の必要性が高い場合には、参加者全員について、「**3回目のワクチン接種歴の確認**」又は「**抗原定性検査による陰性確認（※）**」をした上で、実施することを推奨します。
- (2) 飲食店を利用する際は、できる限り「**高知家あんしん会食推進の店**」の認証店を利用してください。
- (3) 会話が主となる時間帯には、できる限りマスクの着用を励行するなど、飛沫感染の防止に努めてください。
- (4) 特に、飲酒の場などでの「献杯・返杯」や「大声での会話」、「マスクを外してのカラオケ」など、感染リスクの高い行動は、控えるようお願いします。

2 外出・移動について

- (1) 重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方と接する機会がある場合など、感染防止の必要性が高い場合には、事前に「**3回目のワクチン接種歴の確認**」又は「**抗原定性検査等による陰性確認（※）**」することを推奨します。
- (2) 他県へ移動する際は、会食時の対応を含め**移動先の都道府県知事が出している要請に沿って行動**してください。
※ 県内にお住まいの方は、県が設置する検査会場等で無料の検査を受けることができます。

3 イベント等について

開催にあたっては、業種別ガイドライン等に基づく感染防止対策を徹底してください。

- (1) 参加人数が5,000人超かつ収容率50%超のイベント開催については、県へイベント開催の2週間前までに「感染防止安全計画」を提出（※）してください。
※ 「**感染防止安全計画**」を策定し、**県による確認を受けたイベントの人数上限は、収容定員までかつ収容率の上限を100%とします。**
- (2) (1) 以外は、「感染防止策チェックリスト」を作成してホームページ等で公表し、イベント終了日から1年間保管してください（県への提出は不要）。

これまで屋外では原則不要、屋内では原則着用としていましたが

令和5年3月13日から

マスク着用は個人の判断が基本となります

ただし、以下のような場合には注意しましょう

周囲の方に、感染を広げないために

マスクを着用しましょう



受診時や医療機関・
高齢者施設などを訪問する時



通勤ラッシュ時など混雑した
電車・バスに乗車する時

ご自身を感染から守るために

マスク着用が効果的です



高齢者



慢性肝臓病
がん
心臓病など

基礎疾患を有する方



妊婦

重症化リスクの高い方が感染拡大時に混雑した場所に行く時

本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、
個人の主体的な判断が尊重されるよう、ご配慮をお願いします

※事業者の判断でマスク着用を求められる場合や従業員がマスクを着用している場合があります